

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

<h2>サポートブラケットセット</h2> <p>-マルチウイングキャリア (79265 専用) -</p>	適応車種	商品NO.
	BURGMAN200 (‘14)	92789

■ ご使用前に必ず、ご確認ください ■





※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行なっております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

警告 要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

注意 要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。


警告

- この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。
- このキャリアの最大積載重量は 4Kg です。最大積載重量を超える荷物をこのキャリアに積まないでください。車体フレームが破損する恐れがあります。
- この商品に曲げ・切削・溶接等の加工は行なわないでください。商品の破損だけでなく、重大な事故につながる恐れがあります。
- 指定積載重量内の荷物積載用途としてのみご使用ください。車両を固定する商品としては設計しておりません。

注意

- 周囲の安全を確保し、車体が倒れないよう十分注意して、取付作業を行なってください。
- この商品の取り付けにはセンターフレームカバーへの穴あけ加工が必要になります。確実な取り付け位置を出すために、けがき位置に小径のドリルを使用して加工を行ない、付属のカラーを合わせながら、ヤスリ等を使用して徐々に穴径を広げてください。
- 穴あけ加工は慎重に行なってください。加工後の穴位置に関するクレームや、穴あけ加工を行なう純正センターフレームカバー等の保証はお受けできません。あらかじめご了承ください。
- この商品を装着するとシートカウルやシートとの間に隙間が生じます。防水性はありませんのであらかじめご了承ください。
雨天走行時や洗車時にはシート下に水が浸入しないよう注意してください。
- この商品を装着および、装着して荷物を積載した場合、ハンドリングやブレーキ性能が変化する可能性があります。操作になれるまでは、十分に慣らし運転を行なってください。

- この商品の裏面や取付ステー周辺は、製造上表面仕上げにムラが生じてしまいます。その為、地域の環境やメンテナンス次第によっては、サビが発生する可能性があります。あらかじめご了承ください。
- この商品は、商品その物に対し商品のみを保証します。取り付けや、ご使用状態または積載させた荷物の脱落（BOX やバック等の中味の不具合）に対しましては、一切保証できません。詳細につきましては、商品付属の保証書（保証規定）をご参照ください。
- この商品の取り付けには純正部品を使用します。使用する純正部品または車両各部に欠損・損傷がみられた場合、その部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用されますと、重大な事故につながる恐れがあります。
- 車両側に転倒曆がある場合、お取り付けできない可能性があります。
- この商品の角部等には、エッジや突起がある場合があります。取付作業を行う際には保護手袋を使用してください。またエッジや突起部がある場合、ヤスリ等を使用して処理を行なってください。
- ボルト、ナット類の締付には、トルクレンチを使用し、必ずそれぞれのサイズに合った規定の締付トルクまたはこの説明書に記載されたトルクで締付を行なってください。
- GIVI 社製のトップケースを装着する場合、30L 以下のトップケースを使用してください。30L 以上は重量オーバーとなります。（最大積載量は 4Kg です。重量 3Kg のトップケースを装着した場合、積載重量は 1Kg となります。）
- トップケースを同時装着した場合、トップケースをタンデムライダーの背もたれとして使用しないでください。各部が破損する恐れがあります。
- この商品はスチールとアルミを使用していますが、金属製であっても長年ご使用されますと経年変化による劣化が生じます。必ず定期点検を行なってください。経年変化による商品の破損等の不具合についてのクレーム等はお受けできません。
- 取り付け後約 100km 走行しましたら、各部を必ず点検してください。その後は約 500 km 毎に必ず点検を行ない、各部に異常がないか確認してください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合、商品または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へ必ず相談してください。

- この商品を取り付けた場合、車体側の取り付け面や、その周辺に傷が付く可能性があります。あらかじめご了承ください。
 - この商品を取り付ける際、純正タンデムグリップを取り外します。タンデム走行時は②③ フィッティング前部のパイプ部をご使用ください。
-  その他
- 荷物の積みおろしや、GIVI 社製トップケースのフィッティング類の脱着を繰り返すと、① トッププレートに傷が付く可能性があります。
 - この商品の取り付けは、一部の純正部品を使用します。取り外し時の紛失には十分注意してください。
 - 塗装仕上げの商品は、商品の裏面や取付ステー周辺部など、複雑な形状をしている箇所には、ムラが発生します。仕上がりムラについてのクレームはお受けできませんので、あらかじめご了承ください。



法令違反

- 極度に後方へ飛び出す荷物を搭載しますと、テールランプやナンバープレートの視認性が悪くなる可能性があります。積載重量 4Kg 以内であっても注意が必要です。

本商品の特徴

- マルチウイングキャリア（79265）をご使用のお客様専用のサポートブラケットセットです。
- 商品到着後は必ずこの商品（92789）と同時装着にてご使用ください。
マルチウイングキャリア（79265）のみでご使用の場合、車体フレームが破損する恐れがあります。
- 最大積載重量：4Kg を超えない範囲でご使用ください。車体フレームが破損する恐れがあります。
- フィッティングとトッププレートをセパレート化し、取り付けしやすい設計です。
- 取り付けにはセンターフレームカバーへの穴あけ加工が必要になります。

商品内容

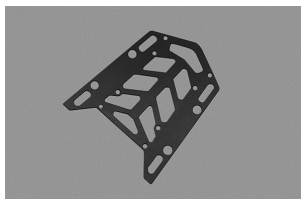
マルチウイングキャリア（79265 構成品）

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	トッププレート		1	④	カラー	Φ18×Φ9×10L	4
②	フィッティングR		1	⑤	六角穴付き皿ボルト	M8×20	4
③	フィッティングL		1	⑥	フランジ付Uナット	M8	4

サポートブラケットセット（92789 構成品）

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
A	サポートブラケット		1	C	フランジ付六角ボルト	M8×35	1
B	カラー	22×8.5×20L	1	D	六角穴付き皿ボルト	M8×25	4

別売品



・ラバーマット 77423 ￥2,200（税別）

ウイングキャリアのトッププレートに合わせたラバーマット。傷防止やすべり止めに便利。

●ゴム製、厚み 2mm（両面テープ付）

※耐候性に優れた素材を使用しておりますが、通常使用であっても変色や亀裂が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

※ゴム製品のため積載する荷物によっては、商品色の黒色が付着する可能性がありますので注意が必要です。

①トッププレートについて

- 本製品の①トッププレートには表面処理工程上、色ムラが必ず残ってしまうため、すべての在庫品には黒のタッチアップペイントを施しております。色ムラの発生部は、主にネジ穴や複数ある穴あけ加工部（黒○）等となります。

タッチアップペイントは製造上の仕様となりますのであらかじめご了承ください。



※. マルチウイングキャリア (79265) をご使用していただいているお客様用の説明書です。

マルチウイングキャリア (79265) の部品を①~⑥の数字、サポートブラケット (92789)

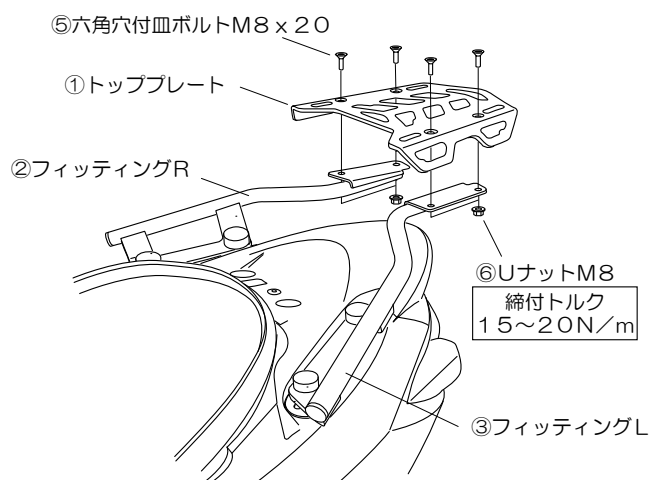
の部品をA~Dの英語で表しています。

取付方法

1. キーを回し純正シートを開けます。
2. マルチウイングキャリア (79265) の①トッププレートを⑤六角穴付皿ボルト M8x20、⑥U ナット M8 を緩め取り外します。

※取り外した⑤六角穴付皿ボルト M8x20 は使用しません。

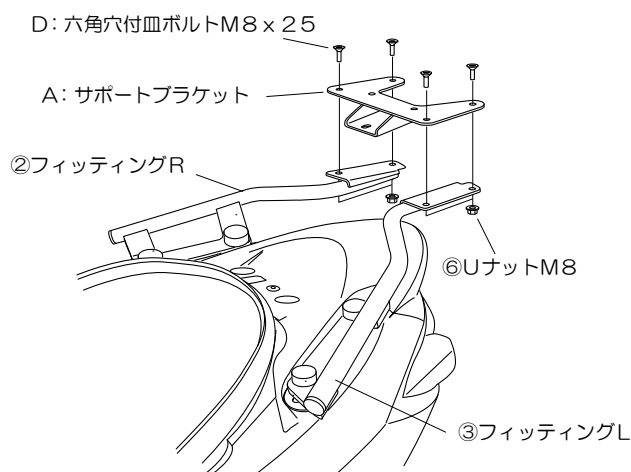
D: 六角穴付皿ボルト M8x25 に変更になります。



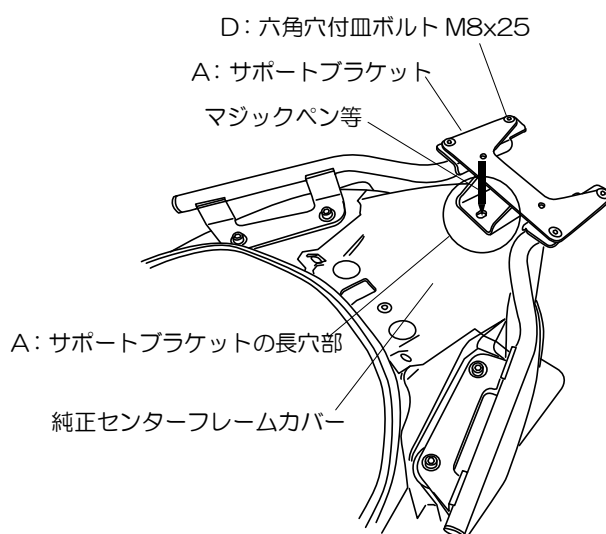
3. <純正センターフレームカバーに穴あけ用のケガキを入れる>

②/③フィッティングR/Lの上にA: サポートブラケットを乗せ、D: 六角穴付皿ボルトM8x25と⑥U ナットM8 を使用して仮止めします。

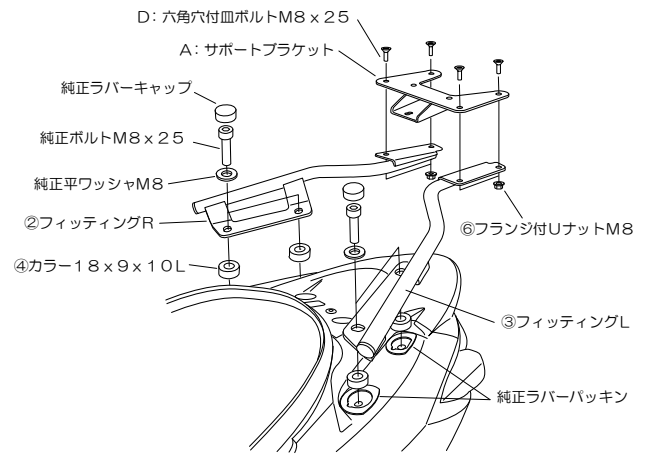
4. 位置調整を行いながらD: 六角穴付皿ボルトM8x25と⑥U ナットM8 を本締めします。



5. A: サポートブラケットの長穴部の中心に、マジックペン等を差し込み、真下の純正センターフレームカバーにケガキを入れます。



6. D：六角穴付皿ボルトM8×25と⑥UナットM8を緩め、A：サポートブラケットを取り外します。
7. 純正ボルトM8×25を外し、②/③フィッティングR/L、④カラー等を車体から取り外します。



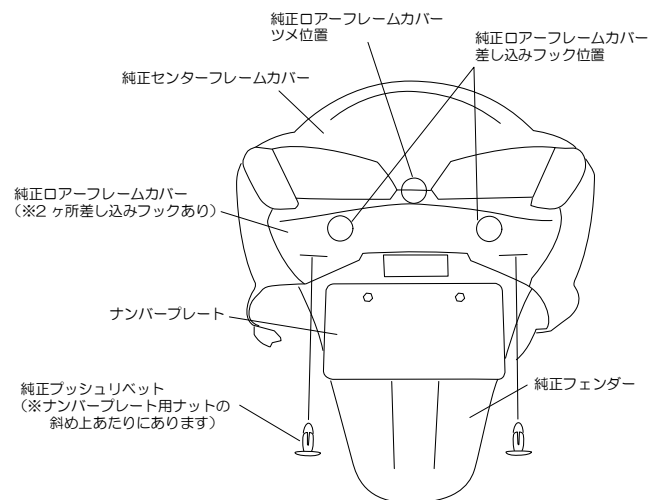
8. <純正ロアーフレームカバーの取り外し>

純正フェンダー裏側のプッシュリベット(2個)を取り外します。

※非常に奥まったところにあるので懐中電灯等で照らしながら覗き込み、取り外しを行なってください。

(プッシュリベットの取り外し方法は下図参照)

9. 純正ロアーフレームカバーの差し込みフック位置に注意しながら後方に引き出し、純正ロアーフレームカバーを取り外します。
※フックが折れないよう慎重に作業を行なってください。



■ プッシュリベットの使用方法 ■

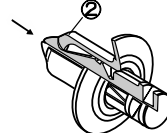
プッシュリベットを取り外す場合

①部のピンを押し込み、クリップ自身を抜き取ります。

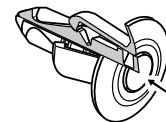


プッシュリベットを取り付ける場合

②部のピンを反対から押し込み、ピンを本体から飛び出させてから穴に本体を差し込みます

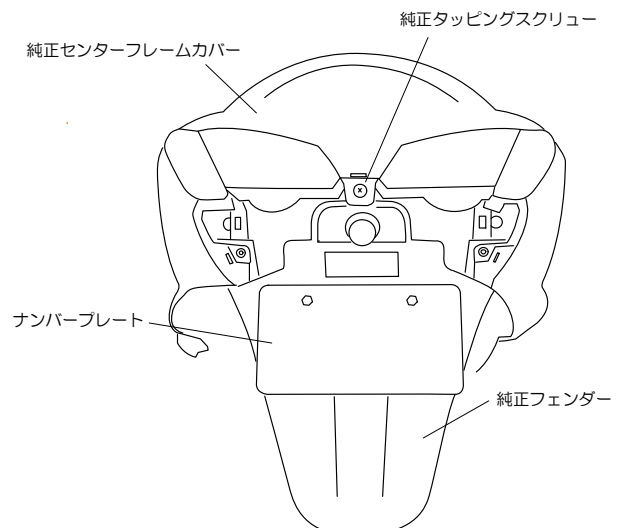


ピンを押し込んでロックします。



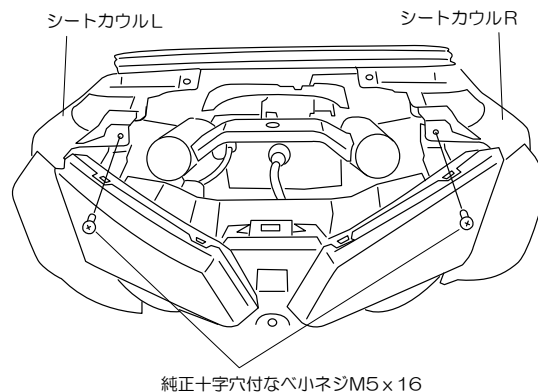
10. <純正センターフレームカバーの取り外し>

純正センターフレームカバー上面のプッシュリベット(3個)と純正タッピングスクリュー(1本)を取り外し、純正センターフレームカバーを取り外します。



1 1. <車体側フレームの破損の確認作業>

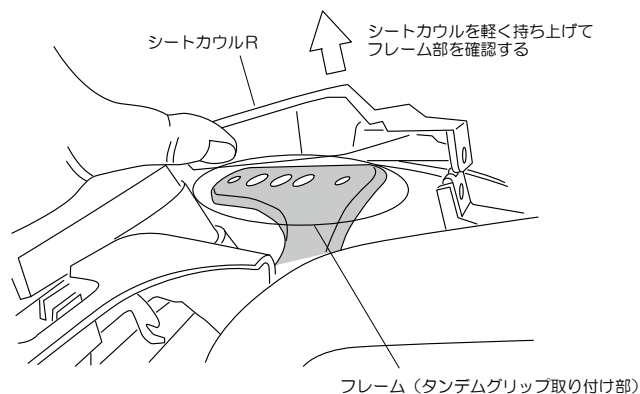
シートカウル後端の純正十字穴付なべ小ネジM5×16を外します。



- 1 2. シートカウル後端を軽く持ち上げ、すき間から純正タンデムグリップの取り付け部のフレームにクラック（ひび）が入っていないか確認します。

※万が一クラックが入っている場合は修理が必要です。認証工場や販売店にご相談のうえ、弊社までご連絡ください。

- 1 3. クラックが入っていない場合は、シートカウル後端の純正十字穴付なべ小ネジM5×16を取り付けます。

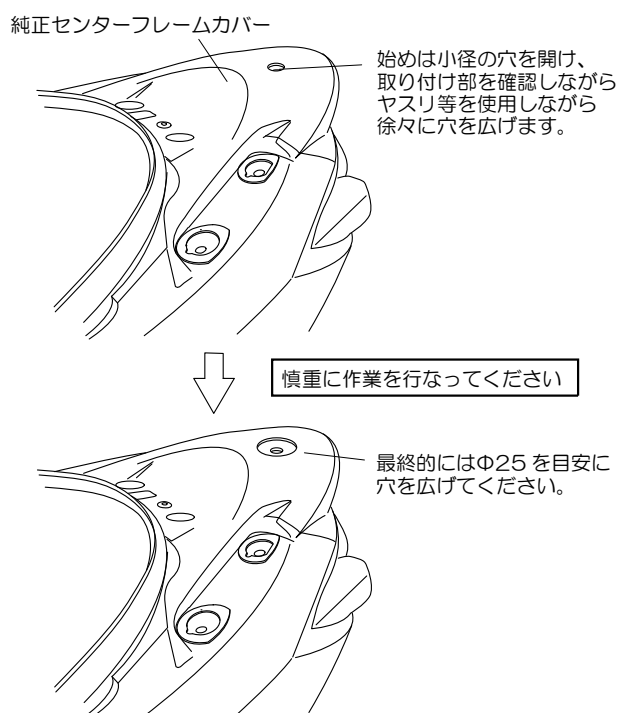


1 4. <センターフレームカバー穴あけ加工>

取り外したセンターフレームカバーのケガキの中心部にポンチを打ち、小径（B：カラー22×8.5×20L 外径より小さい）の穴を開けます。

純正センターフレームカバーがキズにならないよう、慎重に作業を行なってください。

- 1 5. 純正センターフレームカバーを車体へ仮装着し、小径穴から取付部を覗きながら B：カラー22×8.5×20L を合わせて、ヤスリ等を使用し徐々に穴を広げます。この作業を慎重に繰り返し穴あけ加工を行なってください。最終的に加工穴径はΦ25を目安に広げてください。

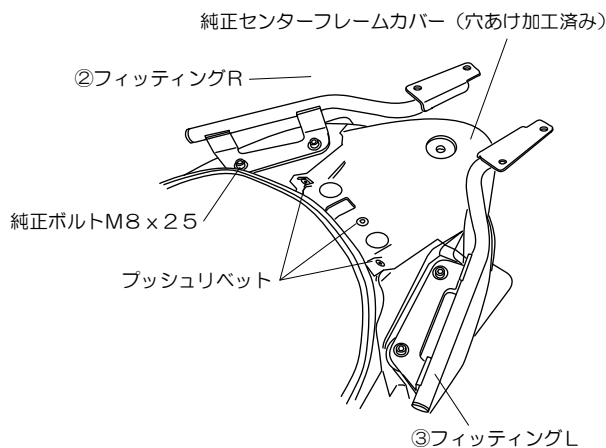


- 穴あけ加工は慎重に行なってください。加工後の穴位置に関するクレームや、穴あけ加工を行なう純正センターフレームカバー等の保証はお受けできません。あらかじめご了承ください。

16. 穴あけ加工を施した純正センターフレームカバーを車体に装着し、プッシュリベット（3個）と純正タッピングスクリュー（1本）にて取り付けます。

17. 純正ローフレームカバーのフック位置に注意しながら車体側にはめ込み、純正フェンダー裏側のプッシュリベット（2個）にて固定します。

18. ④カラー18×9×10Lをセットし、②/③フィッティングR/Lを純正ボルトM8×25にて仮止めします。



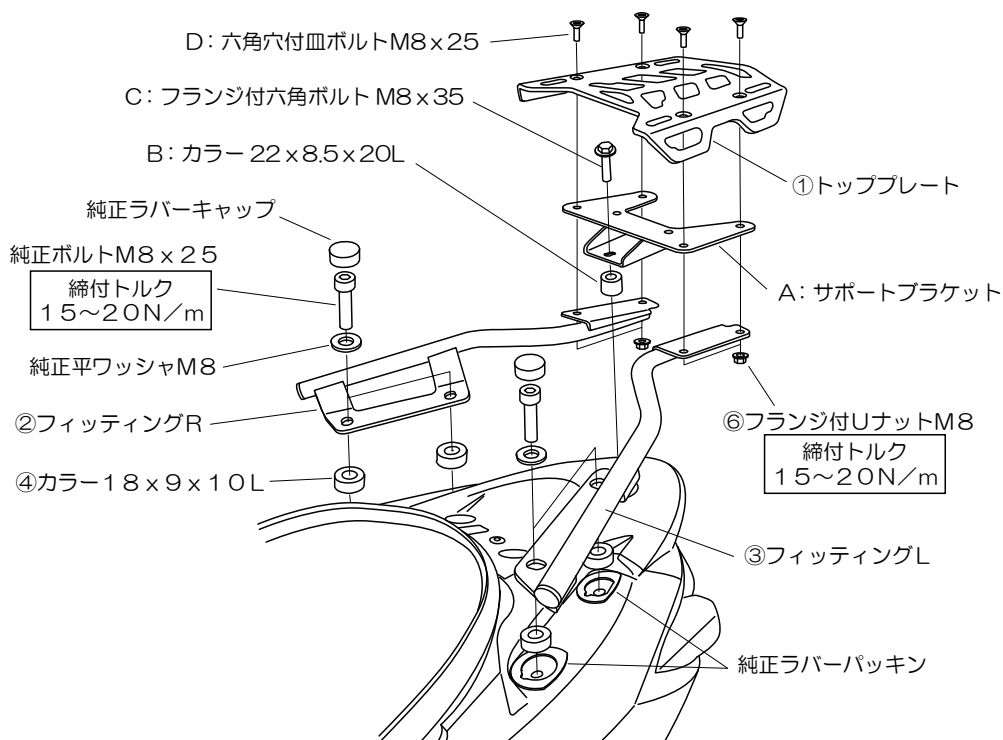
19. 純正センターフレームカバーの穴にB：カラー22×8.5×20Lをセットし、②/③フィッティングL/Rの上にA：サポートブラケットを載せ、C：フランジ付六角ボルトM8×35にて仮止めします。

20. A：サポートブラケットの上に①トッププレートに乗せ、D：六角穴付皿ボルトM8×25と⑥フランジ付きUナットM8（4ヶ）にて②/③フィッティングL/Rに固定します。
※穴位置が合わない場合は②/③フィッティングL/Rを固定している純正ボルトを一度緩め、D：六角穴付皿ボルトM8×25を本締めした後に純正ボルトの本締めを行なってください。

21. C：フランジ付六角ボルトM8×35を本締めします。

22. 純正ラバーキャップを純正ボルトに取り付けます。

23. 純正シートを戻し、各部を点検し異常が無ければ作業は終了です。



東証JASDAQ上場

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955まで